

# 緊急通報装置

## 利用してみませんか？

町では、ひとり暮らしの高齢者・障がい者などで慢性疾患や整形疾患により日常生活に見守りが必要な方が緊急時の不安を解消し、安心して在宅生活を続けられるように事業を行っています。装置の取り付けおよび利用は無料で、緊急時には総合警備保障株式会社 ALSOK（アルソック）の警備員が24時間体制で対応します。【問い合わせ】町地域包括支援センター ☎ 73-2255



### 担当者インタビュー

ALSOK 北広島営業所 ガードマン 西野 将浩 さん

私にお任せください！



昨年、栗山町では76件の出動がありました。家の中での転倒や突然体調が悪く倒れた際など、さまざまな場面で活用され、手助けと救急車の要請を行いました。利用者やご家族の方からは「24時間連絡が取れて助かった」「遠方ですぐに駆けつけられ

ない場合も頼りになる」などといった声もいただいております。私たちは本事業を「命」に直結している大切なものと考えています。緊急時には早急に安心を提供できるように心掛け、これからは皆さんの安全を見守る活動をさせていただきます。

### こんなとき（緊急時）に活用されます

①緊急通報装置の緊急ボタンを押したとき



②ドアが24時間開閉されなかったとき



※冷蔵庫もしくはトイレの扉にセンサーを設置します。

③火災やガスなどの警報が鳴ったとき



隊員が現場に駆け付け、受信センターで家族への連絡や救急車の出動を行います。



### 対象 ※概ね65歳以上の方で次の要件を全て満たす方

- (1) 心臓疾患、高血圧などの慢性疾患や整形疾患により日常生活上、注意を要する状態にある方
- (2) 世帯の状況が次のいずれかに該当する方
  - ①ひとり暮らし
  - ②同居人はいるが、同居人も日常生活上、注意を要する状態にある方
  - ③同居人はいるが、同居人が定期的・継続的に仕事などで概ね半日以上外出するために、ひとりで生活することとなる方

※障がい者のみの世帯で、日常生活上、注意を要する状態にある方または、概ね90歳以上のひとり暮らしの方は、健康状態、世帯状況問わず対象です。

※固定電話機に取り付けるため、装置の電気代、通報時などの通話料は設置者負担です。

## 栗山学び隊 No.37

### 北海道介護福祉学校

JA そらち南青年部主催「田植え体験ツアー」

### 田植えで感じる、まちの魅力

JAそらち南青年部が主催する田植え体験ツアーが5月20日、きなうすファームの水田で開かれました。この日の参加者は約50人。札幌市白石区のか、介護学生の12人がボランティアアメンパーとして参加しました。実はほとんどの生徒が田植え初体験。かなり緊張した様子でしたが、裸足で冷たい水田に入るとみんな大興奮

です。ぬかるみでバランスを崩し、泥だらけになりながらも、苗を1本ずつ丁寧に植え、参加者たちと交流を深めながら約2時間の活動を楽しみました。1年生の三ツ山ゆうきさん（帯広市出身）は「初めての田植えでドキドキしたけど、想像以上に楽しかった。まちの食や自然の豊かさを感じられる貴重な機会でした」と笑顔で話していました。

地域で輝く介護福祉学校と栗山高校に通う皆さんの様子をお届けします



### キャプテンとしての役割、これからも

ゆめのや 布谷 優芽さん（栗山高等学校3年）

昨年12月号にも登場したバドミントン部主将の布谷さん。「いよいよ最後の大会の高体連です。悔いが残らないように全力で臨みたいですよ」と力強く語ります。春の大会では、念願の公式戦初勝利。「ダブルスで、うまく呼吸を合わせられました。相手方には感謝です」と振り返ります。ダブルスのパートナーは、唯一2年生の後輩部員。



3年生引退後、主将を担う予定とのこと。「引き継ぎを見据え、既に練習メニューなどを一緒に考えています。彼女のお手本になれるように意識して過ごしています」と照れながら話します。大会後は、進学に向けての日々とのことですが「引退後も少しずつ練習には顔を出したいです。何か力になれば」と後輩への想いを話してくれました。